

\* 前期比：D I・季節調整済

景況

業況は-72と前期改善に比べ、2ポイント悪化傾向を強めました。売上額は16ポイント、収益は5ポイント前期改善から、減少傾向を強めました。価格面では、販売価格は5ポイント減少傾向を強め、仕入価格は上昇傾向を弱めました。在庫は横ばいとなりました。資金繰りはわずかながら1ポイント窮屈感が弱まりました。残業時間は21ポイントと大きく減少傾向を強め、人手は10ポイント下降し、減少傾向に転じました。設備の状況は6ポイント不足感を強め、設備投資を実施した先は、事業用土地建物などで14%と、前期に比べ4ポイント増加しました。

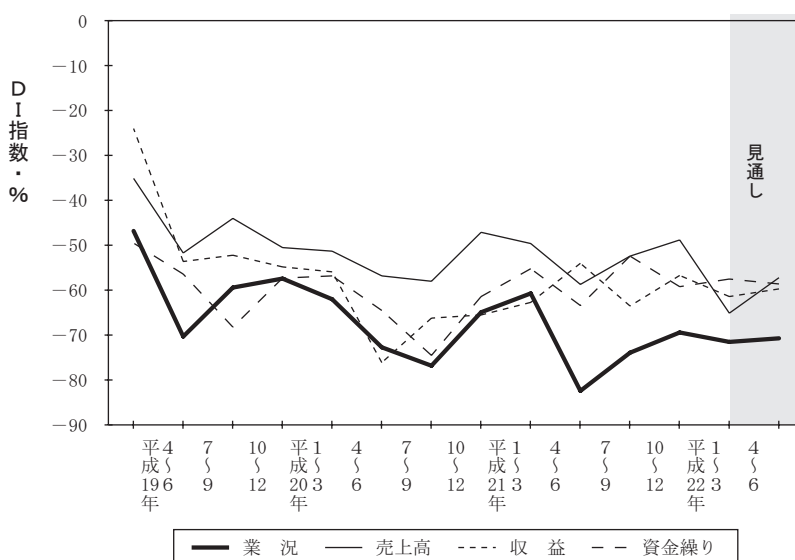
来期の見通し

業況は-71と今期に比べ、わずかながら1ポイント悪化傾向が弱まるとみえています。売上は8ポイント、収益は2ポイント減少傾向を弱めそうです。価格面では、販売価格は7ポイント下降傾向を強め、仕入価格は15ポイント下降し、下降傾向に転じるとみえています。在庫は2ポイント不足感を強めそうです。資金繰りはわずかながら1ポイント窮屈感が強まるとみえています。残業時間は6ポイント減少傾向が強まり、人手は3ポイント不足感が強まりそうです。設備の状況は4ポイント不足感が強まり、設備投資については、事業用土地建物などで11%の実施予定とし、今期に比べて3ポイント減少するとみえています。

調査員のコメント

- 料亭ブライダル部門を新設し、雑誌等に広告を掲載したところ、順調に予約が入り、売上収益共増加している。(料亭)
- 景気低迷により、外食の減少や商店街から客足が遠退していることも売上の減少の要因と考えられる。改善策として、季節に応じたメニューを作ることである。(そば・うどん・丼店)

景況の推移



主な指標の動き

